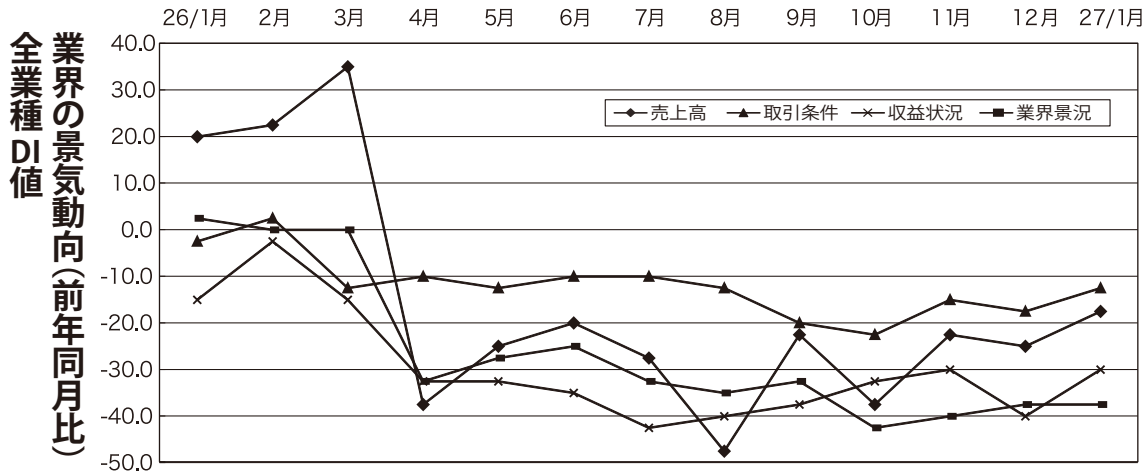


HOT VOICE

ほっと

1月の業界の動き

平成27年1月度 情報連絡員報告



	26/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27/1月	増減
売上高	20.0	22.5	35.0	-37.5	-25.0	-20.0	-27.5	-47.5	-22.5	-37.5	-22.5	-25.0	-17.5	7.5
取引条件	-2.5	2.5	-12.5	-10.0	-12.5	-10.0	-10.0	-12.5	-20.0	-22.5	-15.0	-17.5	-12.5	5.0
収益状況	-15.0	-2.5	-15.0	-32.5	-32.5	-35.0	-42.5	-40.0	-37.5	-32.5	-30.0	-40.0	-30.0	10.0
業界景況	2.5	0.0	0.0	-32.5	-27.5	-25.0	-32.5	-35.0	-32.5	-42.5	-40.0	-37.5	-37.5	0.0

概況

平成27年1月の前年同月比DI値を見ると「設備操業度」は、25.0ポイント、「収益状況」は、10.0ポイント上昇した。連絡員のコメントからは、特にサービス業では年末年始にかかわらず旅館に空室もあり、旅館業としても良くない状況とのことであった。

寒さの影響もあり前年比3%前後の増販(石油)

製造業

【醤油味噌】相変わらず円安で原材料も下がりず、需要も伸びずに低迷している。

【紙器段ボール箱】本年1月は静かなスタートで大きく伸びた分野も無く、減少した分野も無かった状況であった。昨年同程度か少しマイナスの出荷数量であった。

【印刷】例年のことであるが、年度末の繁忙期に向けて、1月中頃から仕事量は増えてくる。新年互礼会の席では、組合員の協力で出来た三重県民手帳が好評であり、地域に役立てる印刷業であることを確認できた。

【一般機器(四日市)】「仕事があっても利益が得られない」という声をよく聞く。政府は中小企業にも賃上げを要求しているが、とんでもない話である。全国の400万社近い中小企業のうち60%近くが赤字経営を余儀なくされている。

【電気機器(鳥羽)】期末対応の発注があり、前年度と同等ペースで推移している。



非製造業

【石油】1月度の燃料油販売数量は、寒さの影響もあり前年比3%前後の増販である。特に12月度に引き続き、燃料油の中でも灯油については前年比10%前後の増販である。電気より割安な灯油暖房を行う利用者が増えてきており、灯油ストーブ機器が他県において品切れもあったようである。収益面については、各元売りの値下げ状況が続いた結果、販売数量増販の影響により幾分前年比より改善できたように思われる。

【商店街(熊野)】第3回目として開催された「熊野きのもとさんま祭り」は、熊野周辺のほか県外などからの集客があり、昨年以上の盛り上がりを見せた。振る舞いの1,000本の丸干しをその場で焼いて食べる企画も好評で、併せてさんま関連商品を取り扱う出店業者の商品も完売が相次いだ。

【警備業】年始のため各現場の仕事始めが遅く、稼働日数が少なく売上高がやや減少した。

【トラック】燃料である軽油の価格は値下がりしてきたが、輸送貨物の需要が減少傾向で収益につながらない。

